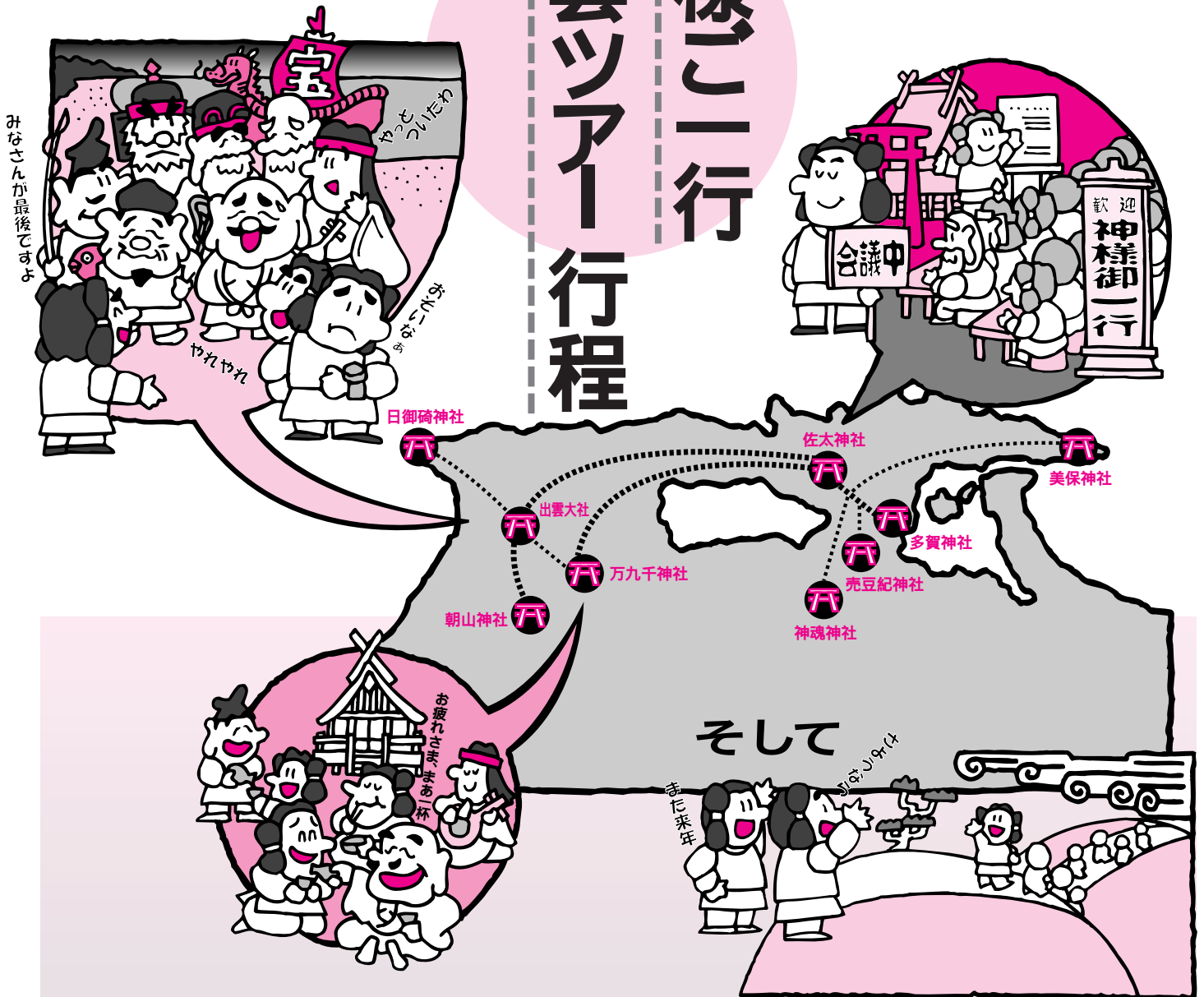


年に一度、八百万神
の一大行事

神様ご一行 出雲ツアー行程



旧暦の10月は一般には神無月ですが、出雲地方に限って神在月と言われます。それは、10月になると、全国の神々が出雲地方に集まって翌年の酒造りや縁結びなどについて会議を行うという伝承があるためです。神在月の期間に出雲地方の多くの神社で行われるさまざまな神事を、神在祭と呼びます。

神在祭の中でも旧暦の10月10日から始まる出雲大社(大社町)の神迎祭、11月20日(月遅れ)から始まる佐太神社(鹿島町)の神迎祭、11月26日(月遅れ)の万九千神社(斐川町)の神等去出祭(神様が全国に帰るとき)の祭などがよく知られています。

このほかにも、旧暦の10月1日に朝山神社(出雲市)で神迎祭が行われるほか、神魂神社

(松江市)、日御碕神社(大社町)、多賀神社(松江市)などでも神在祭に関わる神事が行われています。おもしろいのは、一度、神等去出祭を行って、神様が帰ってしまったはずなのに、出雲に残った神様のために再び神等去出祭を行う神社もあることです。売豆紀神社(松江市)では、旧暦11月3日に神在祭が行われます。このほかにも神在月の伝承は、島根県内の各地に残されています。神々は出雲に参集して会議を行うほかに、船遊びをしたり、漁労や収穫の検分をしたりと、さまざまな伝承が残されています。

現在の神在祭は、出雲大社・朝山神社などでは旧暦で、佐太神社・万九千神社などでは月遅れで行われています。